

《 麻しん（はしか）・風しん，流行性耳下腺炎，水痘の感染予防措置 》

1. 麻しん・風しんのワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

神戸大学では、入学後のキャンパス内での麻しん・風しんの流行を防止するため、「麻しん風しん登録制度」を定めています。

大学院医学系研究科では、全ての新生入生に次の①、②のいずれかを提出していただきます。

- ① 麻しん・風しんのワクチン接種を、満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けたことを証明する書類（推奨）
 - ② 過去5年以内（令和3（2021）年4月以降）に受けた麻しん・風しんの抗体検査の結果が、「麻しん・風しんの発症を防ぐのに十分な血中抗体価（次頁の表を参照）を有していること」を証明する書類
- * ①のワクチンは、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）等の混合ワクチンでも構いません。
 - * ①では、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていることが必要です。
 - * 母子手帳等のワクチン接種記録や接種済証も、接種したワクチンの種類と接種年月日が記載されていれば①の書類として使用できます。
 - * 既往歴（かかったこと）がある場合は、②を提出するか、ワクチン接種を受けて①を提出してください。
 - * ②では、次頁の表の血中抗体価の測定方法と測定値が記載され、測定値が同表の判定基準を満たしていることが必要です。血液検査結果票そのものの提出でも構いません。血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を受け、①を提出してください。
 - * ①、②の書類の組み合わせ、例えば麻しんについては①、風しんについては②を提出しても構いません。
 - * 麻しん・風しんの血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によってワクチン接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。
 - * 上記のいずれの書類も入学試験の合否判定に用いるものではありません。

提出期限：4月入学者は4月20日（月）、10月入学者は10月入学者健康診断実施日

提出先：健康診断を受検するキャンパス（楠または名谷）の保健管理センター分室
不明な場合は、次頁の表を参照ください。

（10月入学者は六甲台地区で実施する10月入学者健康診断時に受付へ提出してください。）

専攻名	領域名	提出先
先進生命医科学系専攻	バイオメディカルサイエンス領域	保健管理センター楠分室
	医療創成工学領域	保健管理センター楠分室
	健康科学領域	保健管理センター名谷室
	未来社会医学領域	教務学生係から連絡のあった健康診断受検会場の保健管理センター分室
医療創成工学専攻	—	保健管理センター楠分室
健康科学専攻	—	保健管理センター名谷室
未来社会医学専攻	—	教務学生係から連絡のあった健康診断受検会場の保健管理センター分室
医科学専攻	—	保健管理センター楠分室

2. 流行性耳下腺炎と水痘のワクチン接種（予防接種）・抗体検査に関する書類の提出について

[医学研究科・保健学研究科所定の様式があり、合格発表後に入学試験合格者に郵送されます。]

医学系研究科・医学研究科・保健学研究科では上記の麻しん・風しんに加えて、流行性耳下腺炎と水痘についても、①ワクチン接種を満1歳以降にそれぞれについて2回ずつ受けているか、②過去5年以内（令和3（2021）年4月以降）に受けた抗体検査で「発症を防ぐのに十分な血中抗体価（下表参照）」を有しているか、のいずれかを証明する書類を所定の様式により提出していただきます。

医療従事者には、原則2回のワクチン接種歴が求められるようになってきていることから、可能な限り①の2回のワクチン接種歴を提出することをお勧めします。罹患歴がある場合は②でも構いません。

また、血中抗体価が不十分な場合には、必要なワクチン接種を満1歳以降にそれぞれについて2回ずつとなるよう提出期限までに受けていただきます。（2回のワクチン接種は4週間以上の間隔をおいて受けることが必要です。）

流行性耳下腺炎、水痘の血中抗体価が不十分にもかかわらず、病気や体質等やむを得ない事情によって予防接種を受けられない場合には、その旨を記載した文書（医師による証明書等）を提出してください。

提出期限：4月入学者は第1学年の6月末日、10月入学者は入学年の12月末日

提出先：健康診断を受検したキャンパス（楠または名谷）の保健管理センター分室

（上記1の表参照）

発症を防ぐのに十分な血中抗体価の測定方法と判定基準
(医学系研究科)

	測定方法	判定基準	備考
麻疹	IgG-EIA 法 PA 法 NT 法	16.0 以上の陽性 256 倍以上の陽性 8 倍以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性
風しん	HI 法 IgG-EIA 法	32 倍以上の陽性 8.0 以上の陽性	2つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (HI 法を推奨)
流行性耳下腺炎	IgG-EIA 法	4.0 以上の陽性	
水痘	IgG-EIA 法 IAHA 法 NT 法	4.0 以上の陽性 4 倍以上の陽性 4 倍以上の陽性	3つの測定方法のうち、いずれかで陽性 (IgG-EIA 法を推奨)

- * ワクチン接種歴が条件を満たす場合や追加接種する場合は、抗体検査は不要です。
- * 血中抗体価の測定は、この表の方法によってください。
- * 発症を防ぐのに十分な血中抗体価は、測定方法によって異なります。また、単に抗体陽性とされる値よりは高い値なので注意してください。医学研究科・保健学研究科では、麻疹の判定基準が特に高い値となっています。
- * 医療機関を受診する際には、必要なワクチン接種や抗体検査を受けることができるか、予め確認してください。また、この用紙を医師に提示するなどして必要な証明書を発行してもらってください。

<p>この感染予防措置に関する問い合わせは</p> <p>神戸大学 保健管理センター TEL 078-803-5245</p> <p>神戸大学 学務部学生支援課 TEL 078-803-5219</p>
